



「朝のひととき」

池田 美佐子 さん撮影

カメラ キヤノンイオス
絞リ F22
シャッター オート
フィルム コダック

ピンボケ会

町の交差点

各

餅つき、注連飾りづくり
地域で年末の行事が目白押し！

師走最初の日曜 12月6日、町内の各地域では年末恒例の行事が行われました。豆田区では、黒米・赤米を足踏み式の「台ガラ」を使ってつく方法で子どもたちがつきました。出来上がったお餅はどこか懐かしく、とても味わい深いお餅でした。吉隈二区でも威勢のいい掛け声とともに“ペッタン！ペッタン！”と子どもたちが元気に餅つきを行いました。また、土師二区では、大人・子ども合わせて



25名が参加してのメ飾り作りが行われました。今回は、一段と大きく立派な新作メ飾りも登場していました。

▲元気いっぱいの子もたちによる餅つき風景（吉隈二区）
▲立派に出来上がったメ飾りを持って記念写真（土師二区）



◀「台ガラ」を使った豆田区の餅つき風景

▼黒米・赤米でつきあがったお餅



俳句会

（十一月例会）

大庭土筆選

特選

しぐる、や駅に並べる募金箱

摩治 廣子

朝しぐれ女人高野の径光る

花田ムツ子

本選

尾道の坂に迷うて夕しぐれ

野上マチ子

冬紅葉明かりとり入れ町庁舎

藤田 昌愁

この指を離さぬ嬰や冬紅葉

木下 民

短歌会

（十二月例会）

矢野京子選

もう長く文書くこともなき我は文字確かめんと電子辞書ひく

大音 康子

六度目の寅とし迎ふるしめ飾り藁しごきを青く乾くを

神崎 鈴子

冬野菜味はひ増さむ窓に見る隣家の屋根に白き初霜

木原トシ子

流し台に爪立ち洗ふ大味嘈甕たわしに洗へば染みし香のする

藤川ミヤ子

「初物は寿命延びる」と夫は言ふ姑の口ぐせいつか移りて

小川 孝世

編集＊後記

▶ 今月の「町の交差点」の桂川小学校5年生授業風景の取材では、興味津津のまなざしで目を輝かせて実験をする子どもたちを見て、理系出身の私自身もなんだか嬉しくなりました。

▶ 理科は、体験することで五感全部を使って学べる科目。体験することで得られる発見の喜びが、さらに新しい疑問や新しい発想を生み出します。この“体験”や“経験”するということは、理科のみならず私たちにとって非常に重要なことだと思います。

▶ メ縄作りでも、ただ賑やかに作って飾れば良いというものではありません。縄の編み方ひとつとっても、意味があります。餅つきでも、蒸したお米が餅に変わる過程やその労力を体験することで、食のありがたみ・食育につながります。

▶ 広報担当になってから、私自身も様々な体験、経験をさせていただいており、今年もそんな体験や経験で得た町の話をお届けしたいと思います。本年もよろしくお願ひします。（斉藤）

